

# 月の卒業式

いちのみや

登場人物  
ヨシオ  
カナコ  
かえで  
タイチ  
みづほ

## ACT 1

パツヘルベルのカノンが流れるとともにだんだんと明るくなる。

一本の木。

首を吊るための縄が垂れ下がっている。その下に踏み台がある。

制服の少年少女が、一人、一人とその木の下に横に並んでいく。

彼らの手には花束がある。

どこからか声が聞こえる

声 声 声  
卒業証書授与されるもの  
卒業証書授与されるもの  
卒業証書授与されるもの

声が大きくなるにつれ、ヨシオの姿が浮かび上がる。台の上にヨシオが立つ。

ヨシオ 青木 光男  
加藤 浩子

佐久間 みづほ

鈴木 茂雄

中島 はな

前田 かえで

矢島 薫

渡辺 タイチ

けれども返事の声は聞こえない。

生徒らしき人影は、一人また一人と、床に花束を置いていく。

ヨシオ どうして誰も返事しないんだ。

生徒たちはただ、床を見つめている。

生徒は、無言で立ち去る。

カノンの音楽が強くなる

ヨシオ、虚空にむかって話し始める。

ヨシオ 校庭の桜の蕾も膨らみ始め、春らしさを感じられるようになりました。

それでも雪解けにはまだ早く、まるで別れを惜しむかの様にも思えます。

冬の名残のまだ去りやらぬ時期ですが、日一日と温かい春へと近づいている兆しが見えます

あ、いや、でも朝目が覚めると、まだ寒いなあつて思う時もありますし、夜になると、毛布がないと寝られないくらいには寒いですね、あ、そう夜です。夜。この辺りでは夜になる

と月の光が眩しく、あたりの山を美しく照らし出します。時折、月が山の端にかかるとき、想像以上に大きく見るときつてありますよね、あれってね、実は錯覚なんですよ。月が空高くにある時にはね、こう、まわりに何もないから、小さく見えるんだけれど、それが地平までくるとこう大きくみえるんですね、え？わからない。わからない人は一度見て見るといいですよ。まあ、簡単に言うとね、時々人間っていうのは、遠く遠く離れた月でも手が届くんじやないかってそういう淡い期待を抱くもんなんです。ええ、こうやつてすぐそばにね、あるような気がするんです。

といい、ヨシオ、頭上の首吊りの紐に向けて手を伸ばす。

ヨシオ

まあ、結局届かないんですけどね、いやーそう考えると、実際に月に降り立つたアポロ二号の宇宙飛行士はすごいもんですね、こう重力なんてしがらみもなく、自由自在に飛び回るんですねからね。そうだ、自由自在といえばですね、このあたりは山や川だらけで何もすることができない、いわばそれは不自由ですが、それはある意味では自由というわけで、あ、自由といえばですね、自由、自由ってこうみんな言いたがるわけですよね。言論の自由。表現の自由。思想・良心の自由。こう自由つてつければ何でも許されると思つて使う人が多い。他人のことなんか顧みず、なんで

もかんでもきままにやる。遊びたいときには遊んで、騒ぎたい時に騒いで、食べたい時に食べて、眠たい時は寝て、ええ、そんな風に喋っていると、なんだか私もねむくなつきちやつたなあ。

といい、花束に囲まれ、横たわる。

ヨシオ、目を瞑る。  
カノンの音楽が止まる。

## ACT 2

そこにカナコが近づき

カナコ 先生、先生。

ヨシオ んん

カナコ ヨシオ先生、寝てるんですか。

ヨシオ え、あ、ごめん

カナコ もー、花束こんなに散らかして。

ヨシオ ごめんごめん。

カナコ 書けたんですか？

ヨシオ え？

カナコ 祝辞

ヨシオ ええ、読む練習してたら眠くなっちゃつて。

カナコ 読みますよ

ヨシオ あ

無言で、紙を見るカナコ。

ヨシオ どう？  
カナコ うん  
ヨシオ いいかな？  
カナコ うんうん  
ヨシオ ほんとに？  
カナコ なわけないでしょ  
ヨシオ えつ  
カナコ えつ、じゃないですよ、えつ、じゃ。後半ほとんどの関係ないし、話し言葉じゃないですか。前半も季節の挨拶長すぎだし、ていうかどこにも卒業おめでとうが書かれてないじゃないですか。  
ヨシオ あつそつか。忘れてました。  
カナコ もう、しつかりしてくださいよ。  
ヨシオ ええ、わかつてるんですけどね、なんかこう  
カナコ こう？  
ヨシオ プレッシャーで。  
カナコ はあ。いいじゃないですか、祝辞が読めるだけです。卒業式に。普通読めないですよ、校長くらいしか。  
ヨシオ なんで読めるんですかね  
カナコ さあ  
ヨシオ もしかして、信頼されてるってことですか  
カナコ ね？校長から  
カナコ なにそれ  
ヨシオ いや、そうかなって  
カナコ もう、ヨシオ先生って時々自分の都合のいい  
ヨシオ ように考えちゃうんだから。  
ヨシオ あ、やっぱり違うんですかね、そうですよね、  
はあ

カナコ あ、そうだ。生徒の名前もヨシオ先生が読む  
んですよね。

ヨシオ まあ、担任だから。  
カナコ 大活躍ですね。

ヨシオ まあ、大活躍なのはいいんですけど、最近も  
う、夢にまで出ちゃうんです。

カナコ 校長が？

ヨシオ ちがいますよ、卒業式。

カナコ ああ

ヨシオ さつきも

カナコ こんなとこで寝るから。  
ヨシオ あ、でも変なんです。

カナコ え？ 変ってなにが？

ヨシオ いや、僕が生徒の名前を呼びあげるんですけど、返事しないんです。誰も。

カナコ なにそれ

ヨシオ いや、「卒業証書授与されるもの」っていつたら、みんな動き出して、生徒の名前を呼んだら普通、「はいっ！」て言うじゃないですか。

カナコ ええ、それは

ヨシオ なのにだれも返事しないんです。

カナコ へえ

ヨシオ なんでだと思います？  
カナコ まあ夢だからねえ。

ヨシオ 夢だから怖いんですよ  
カナコ なにが？

ヨシオ 正夢

カナコ はは、嫌われてるの？ 生徒から  
ヨシオ そんなことないですよ！ そんなことないと、

思つてます：あ、これも僕の思い違いなんで

すかね？

カナコ 大丈夫ですよ、大丈夫です。先生は好かれて  
ますから。嫉妬するほど：

ヨシオ えっ、ああ、ええ。そうです。先生として、  
先生としてですよ。

カナコ カナコ先生、今度ご飯とかどうですか？

ヨシオ カナコ ご飯：？

ヨシオ カナコ だめですよね、ごめんなさい

カナコ カナコ じゃないです。

ヨシオ カナコ え？

カナコ カナコ だめじゃないです。

### ACT3

かえでとタイチがベンチに座っている。

かえで この山を登っていくと、橋があつて、その橋  
を越えると、下る道があつて、そしてその下  
り道を降りていくと、また山があつて、その  
山を越えるとまた山があるの。あ、そう、山  
にはね、こんなにでつかい虫がいるんだよ。  
こんなの、こんなのだよ。

タイチ うん

かえで : そうやつて山を4つくらい超えたところに  
駅。1日に一本。来ない日もあるけど。

タイチ : うん

かえで : どうやつてきたの？

タイチ え？

かえで ここまで。どうやつて来たの？

かえで 帰らなきや。

「家路」が聞こえる。

かえで  
さあ。

## タイチ どういうこと

かえて  
嬉しいから

卷之二

タクニ  
スノウリガ

かえで  
タメチ。云交

# タイチ かえで

かえで  
かえで  
で  
い  
い

タイチ  
かえでちゃん

かえで  
私の名前。

タイチ  
うん

かえて  
え！覚えてた

タメテせやん

卷之二

دیوان امیر

文子

かえで 虫、じやなく

タイチ カミキリムシ

かえで ねえ、名前な

かえで  
ねえ、名前なんだつけ、名前

沈默

タイチ  
列車  
山超えて来たんだ  
山超えて来た。  
そりやそうか  
虫いた。こんなのが  
タイチ  
かえで  
かえで  
だよね(

タイチ なにこれ  
かえで 知らない？

かえで歌を歌う。

♪遠き山に 日は落ちて  
星は空を ちりばめぬ

タイチ 知らない  
かえで なんだ  
タイチ : 歌上手いね  
かえで : ありがとう

あたりが暗くなる。

ヨシオとカナコが走つてくる

ヨシオ ちよつと、カナコ先生、そんなに走つたら危  
ないですって、ここ山なんだから。

カナコ 知つてる

ヨシオ 知つてるならもうちよつと待つてくださいよ

カナコ えー

ヨシオ ていうか、僕はご飯に誘つたはずなのになん  
で山にいるんですか。

カナコ さあ。

ヨシオ さあつてねえ。

カナコ 見て。

カナコ カナコ カナコ カナコ カナコ  
ヨシオ ヨシオ ヨシオ ヨシオ ヨシオ  
カナコ カナコ カナコ カナコ カナコ  
ヨシオ 月 純麗

ああ

ヨシオ カナコ先生知つてますか？

カナコ なに？

ヨシオ 月が綺麗ですね

ヨシオとカナコの姿は闇に消える。

タイチとかえでが歩いて帰るところだ。

かえで 「月が綺麗ですね」って異性の人に言つたら、  
それは「愛しています」っていう意味になる  
の、そしたら、それを言われた人が「死んで  
もいいわ」っていうと、「私もあなたを愛して  
います」っていう意味になるんだって。

タイチ なにそれ

かえで まあ、なんていうか都市伝説みたいなもん

タイチ 都市伝説って

かえで 噂つて言つたほうがいいのかな、ヨシオ先生

が言つてた。

タイチ ねえ、それつてさ、もし相手が好きじゃなか  
つたらどうすればいいの

かえで え

タイチ いや、ほら月が綺麗ですねって言われて、も

しもその人のことを好きじゃなかつたらなん  
て返せばいいのかなって

かえで 「ごめんなさい」じゃない？

タイチ そこは普通なんだ。

かえで うーん、〇×なら「私、死んでもいいわ」でし  
よ、じゃあ、逆に「まだ死にたくない」みた

いな

タイチ なるほど

かえで なに、だれかに告白される気なの？

タイチ いや、そんなんじゃ  
かえで だれもあんたなんかに告白しないわよ  
タイチ うるさいなあ  
かえで ⋮してあげようか  
タイチ ⋮え  
かえで 告白

舞台、闇に包まれる。

## ACT 4

ヨシオ それから一ヶ月がすぎた。卒業式を目前にして職員室は大慌てだ。僕は相変わらず、悪夢を見ていた。卒業式の光景。誰も返事をせず、ただただ闇に向かって歩いていく生徒の姿が不気味に見える。それはきっとまだ、僕が信頼されていない証拠なのだと自分をふるいたてて頑張ろうと思う。カナコ先生は、卒業式前だと言うのに、すごく落ち着いた表情をしていた。落ち着いているというよりもむしろ達観しているというか、何かをもう諦めているというか、その時は、カナコ先生の落ち着きっぷりをすごいなあとただただ見つめていたのだけれども、それが重大なサインだったことに僕は気がついていなかつた。

ヨシオの姿が消え、代わりにみずほとがかえでが現れる。

みずほ ねえ、  
かえで ん？

みずほ 付き合つてゐるの？タイチくんと  
かえで え、いや別に  
みずほ ねえ、教えて  
かえで いや、かえで、タイチくんと仲よさそうだつ  
みずほ たから。付き合つてんのかなつて  
かえで そんな、付き合つてないよ、あんなやつ好き  
みずほ になるわけないじやん、あんな、なんか、ひ  
かえで よろひよろでちつちやくて、いつもだつさい  
みずほ ツシャツ着てズボンもダボダボで靴下なんか  
かえで 毎日黄色、赤、青、黄色、赤、青の繰り返し  
みずほ で  
かえで もう、とにかくあんなバカ靴下信号野郎なん  
かえで てどうでもいいから。  
みずほ かえで、口悪いね  
かえで でも、よかつたあ  
みずほ そうかな  
かえで どうしたの？  
みずほ 私ね、好きなの。タイチくんのこと。  
かえで えつ  
みずほ 今度、告白しようと思うんだ。  
かえで 嘘、  
みずほ なんで嘘つくのよ、本気だよ。  
かえで そう：がんばつて。  
みずほ 応援してね、かえで。  
かえで うん：応援してる  
みずほ ホント？  
かえで もちろん  
みずほ ありがとう！じやあ！

と、手を振り、帰ろうとするみずほ

かえで みずほ

みずほ ん？

かえで 頑張つて

みずほ うん！

職員室。カナコがぼーっと座っている。  
ヨシオがそれを見て話しかける。

ヨシオ カナコ先生、カナコ先生？

カナコ んー？

ヨシオ 大丈夫ですか

カナコ 何が？

ヨシオ あー、いや何もないんですけど

カナコ そう

ヨシオ どうしたんですか、そんなにぼーっとして。

カナコ ぼーっと？誰が？

ヨシオ カナコ先生ですよ

カナコ してないしてない、ぼーっとなんてしてない

から。

ヨシオ 酔つてます？

カナコ え？

ヨシオ いや、臭いします。お酒の。

カナコ ごめん

ヨシオ いや、ごめんじやなくて。

カナコ ごめん

あたりが夕暮れに包まれる

ACT 5

タイチとかえではベンチに座っている

かえで 遠き山に日は落ちて、

かえで、タイチを見る

タイチ うん

かえで 星は空をちりばめぬ、

かえで、再びタイチを見る

タイチ うん

かえで 歌つてよ

タイチ 歌詞知らない

かえで 嘘。

タイチ 嘘。恥ずかしい。

かえで 意気地なし

タイチ うん

かえで 知つてた

タイチ ごめん

かえで いいよ、それでも好きだから

タイチ ありがとう

かえで それだけ？

タイチ ごめん

かえで バカ

タイチ ごめん

長い沈黙、のち。

タイチ 帰ろ？  
かえで （黙つて頷く）

歩き出す二人。

タイチ じゃあね  
かえで うん

タイチが去った後、立ち止まるかえで。  
「家路」が流れる。  
かえで、ゆっくり家とは違う方向に歩き出す。

ヨシオとカナコが首吊りの木のしたにいる。

ヨシオ ここ自殺が多いんですつて  
カナコ ここ？  
ヨシオ うん、ここ、この木  
カナコ どうしてだろう  
ヨシオ ほら向こう。きれいでしょ。  
カナコ ほんと  
ヨシオ だからかなつて  
カナコ だから、ここで死ぬの？  
ヨシオ どうせなら眺めがいいところでみたいな  
カナコ まさか  
ヨシオ そうかな  
カナコ 死ぬ前にそんなこと考える？  
ヨシオ 僕なら、ここで死にたいです。  
カナコ 死にたいの？

ヨシオ 今じゃないけど  
カナコ いつか？  
ヨシオ カナコ先生がいなくなつたら  
カナコ そう  
ヨシオ いなくなるんですか？  
カナコ わかんない  
ヨシオ そう

沈黙

ヨシオ どんな気持ちなんですかね  
カナコ え  
ヨシオ ここ登つて、いざつて時に、こんな景色  
カナコ その人にとつて綺麗とは限らないじゃん  
ヨシオ どういうこと  
カナコ この眺めが嫌いだつたかもその人  
ヨシオ どの人  
カナコ 例え話  
ヨシオ ああ  
カナコ 帰ろ  
ヨシオ え  
カナコ 寒いから、ここ  
ヨシオ え、でも  
カナコ 寒い  
ヨシオ 待つて。

かえでの姿も見える。

ぼーっとしながらどこかを目指している。  
タイチとみずほの姿が見える。仲良く話しながら歩いている。これはかえでの見ている幻想か

もしれない。

タイチ タイチ ん？

みずほ どうしたの？

タイチ いまなんか聞こえなかつた？

みずほ なにも

かえで、「遠き山に日は落ちて」を口ずさむ。

ヨシオ 月が綺麗ですね  
カナコ うん

ヨシオ 月が綺麗ですね  
カナコ うん

ヨシオ 月が  
カナコ 綺麗ですね  
カナコ うん

ヨシオ 綺麗ですね  
カナコ うん

ヨシオ 知らない？  
カナコ 私、  
カナコ 私、  
ヨシオ うん

ヨシオ 知らない？  
カナコ 私、  
カナコ 私、  
ヨシオ え

ヨシオ 死にたい、私  
カナコ 死にたい。  
ヨシオ なんか違くないですか？  
カナコ 死にたい

と、かけ出すカナコ

ヨシオ ちよつと、カナコ先生どこ行くんですか。

と、追いかけるヨシオ  
かえで、歌っている口を止め、

かえで 死にたい

と、その場に座り込む。

## ACT 6

ヨシオ

それから3日ほどしてカナコ先生は死んだ。  
首吊りの木で首を吊って死んだ。

ヨシオ、ゆっくりと月を見る

ヨシオ 月が綺麗ですね

ヨシオ 月が綺麗ですね

ヨシオ その返事を聞けないまま死んだ。

ヨシオ でも、そのまたの日後、彼女は生き返った。  
生き返ったのではなく、たぶんまだ死んでいるのだろうけども、確かに彼女はそこにいた。自分が死んだことに気がつかずにまださまよっているのだろう。だから僕はなるべく、彼女に「彼女が死んだ」ということを気づかれないように、明るく振る舞つた。話が食い違つても、彼女が生きていることにしてうまく話をあわせた。それでも時折、複雑な顔をして涙を浮かべるのだけれども、たぶんまだ気

づいていない。これでいいんだ。彼女とそばにいれば、僕だつて悲しくはならない。

カナコ ヨシオ先生

ヨシオ どうしたの？

カナコ ごめんね。

ヨシオ 何が

カナコ ごめん。

と、うつむくカナコ

ヨシオ ほら笑つて

カナコ、顔を上げ

カナコ ありがとう

かえでとみずほがいる

かえで 元気出して、大丈夫

みずほ 元気でない

かえで らしくないよ

みずほ らしくなくない

かえで らしくない

みずほ タイチくん、東京戻るんだって。

かえで え？

みずほ 卒業したらすぐまた戻るんだって。両親がね、

そういう

かえで ああ、転勤族みたいな  
みずほ ちょっとムカつく。

かえで どうしたの  
みずほ だつてほら、東京行くからつて。東京行かな  
かつたら付き合つてるのかなつて。  
かえで そういうやつだから、あいつ。  
みずほ するいと思う。  
かえで 元気だしなよ  
みずほ だから  
かえで うん  
みずほ だから、私も東京、行きたい。  
かえで 本気で言つてる?  
みずほ 本気だよ、ずっと憧れてた、東京。  
かえで 怖いよ、東京  
みずほ 何が?  
かえで 何がつていうかなんとなく  
みずほ いく、東京。学校卒業したら。  
かえで いや、いくらなんでも早すぎるつてそれは。  
まだ中学生なんだよ  
みずほ 卒業したら高校生  
かえで まだ高校生  
みずほ かえではどうするの?  
かえで どうつて  
みずほ 行きたくないの東京  
かえで なんで東京なの  
みずほ 東京じゃなくても、もつといろんなものがあ  
るとこ  
かえで いろんなもの?  
みずほ うん、いろんなもの。ショッピングセンター、  
ハンバー ガーショップ、おしゃれなカフェ!  
かえで カフェならあるよ、ここにも  
みずほ あれはカフェっていうか、喫茶店

かえで 同じじやん  
みずほ なんかちよつと違う  
かえで 横文字ならいいの?  
みずほ え?  
かえで 全部横文字。ショッピングセンター、ハンバ  
ーガーショップ、カフェ。  
みずほ べつにそういうことじやないけど  
かえで 私は、ここに残るよ  
みずほ ここでいいの  
かえで ここがいいの  
みずほ そう  
かえで なんでかはわかんないけど  
みずほ 待つてろよ、東京!  
かえで タイチくんじやないの?  
みずほ それもだけど、今は東京。東京に行つたらも  
つとハンサムな男いるかも  
かえで あ  
みずほ ん?  
かえで また横文字

そこにタイチがやつてくる。

タイチ いた  
かえで タイチくん  
タイチ 聞いた?  
かえで 何を?  
タイチ 先生のこと  
かえで 何それ  
タイチ 知らないの?  
かえで 知らないの?  
知らない、どうしたの?

タイチ いいから、こつちきて。

と、タイチが、かえでの腕をがっしりつかみ立たせる。

かえで あつ（と不意に照れるかえで）  
みずほ えつあつちよつと  
タイチ みずほも来て。  
みずほ うん

と、3人走り出す。

カナコ 知つてます？自殺する人の割合つ、都会より田舎の人が多いんですって。

ヨシオ そうなの？東京とかの方が

カナコ 東京は人が多いからそりや自殺する人数は多いけど、割合で見たら、圧倒的に田舎の方が多いの。

ヨシオ なんで？

カナコ なんででしょう

ヨシオ こんなに自由なのに

カナコ こんなに自由だからですよ

ヨシオ ああ

カナコ 映画館も遊園地もない。遊びに行くにしても山や川。広すぎてどこに行く気にもならないし、街に行こうにも電車もほとんど来ない。嫌になっちゃうんですね。ヨシオ先生はそんなこと思つたことないんですか？

ヨシオ そりやたまにはあるよ。あるけど、まあ、こつちはさ、人と人との繋がりが濃くてさ、そ

んなこと気にならないくらいには楽しいよ

カナコ だからですよ

ヨシオ え？

カナコ 濃すぎるんですね、関係が。

ヨシオ いいじやん

カナコ うまく馴染めなかつたら、すぐのけもの扱い。  
あるんですよ、村八分。今でも。ゴミ捨て場  
使わせてもらえなかつたり、回覧板回つてこ  
なかつたり。ひどい時には、水道止められたり  
するんですよ、勝手に。

ヨシオ どうしたの？

カナコ、ヨシオを見る。

ヨシオ 話してください、僕になんでも。

カナコ ヨシオ先生、嫌われちゃつた私。みんなから。

ヨシオ カナコ先生

## ACT 7

タイチ もう泣くなよ  
みずほ だつて：タイチくんは悲しくないの？  
かえで タイチくんは転校して來たばかりだつたも  
んね。  
タイチ いや、だからつて別に  
みずほ かえで、その言い方はよくないよ  
タイチ ああ、いや、いいよ別に  
かえで バカ  
タイチ え？  
かえで 来たばかりのくせして、すぐどつか行きや

がつて  
タイチ なんか言った？  
かえで どつか行くなつて言つてんの  
みずほ かえで？  
かえで 先生に言つたの  
みずほ 口悪いよ、かえで  
かえで ごめん  
：  
かえで 雪、もう解けちゃうね  
タイチ あ  
みずほ どうしたの？  
タイチ なんか、声が聞こえる気がする。  
みずほ 声？前も言つてたやつ？  
タイチ うん、声。  
かえで 聞き間違えでしょ  
タイチ いや、違う。なんか喋つてる、うーつて。  
かえで 風の音だつて  
タイチ いや、風はごーごーでしょ。  
かえで じやあ、虫の声。  
タイチ ちがう。  
かえで じやあ、なに？  
タイチ わかんない  
かえで なにそれ  
タイチ まさか  
かえで でも聞こえる。名前よばれてる。  
タイチ なんか変なんだよ、この音。  
みずほ 変？

③人、解けかけた雪をぼんやりと見つめる。

タイチ 普通、こう音に近づいたら大きくなるでしょ、  
それで、音から遠くなつたら小さくなる。でも、この音、変わらないんだよ。まるでだれかが、ついてきてるみたいに。

かえで なにそれ  
みずほ ねえ、先生じゃない？まだこの近くにいるんだよきつと。

かえで そんなことある？  
みずほ あるよ、きっと  
かえで そんな夢でもないし  
みずほ ねえ、先生、聞こえるなら返事して、私だよ、

私 ヨシオ ちよつと、カナコ先生、そんなに走つたら危ないですって、ここ山なんだから。

カナコ 知つてる  
ヨシオ 知つてるならもうちよつと待つてくださいよ  
カナコ 見て。月  
ヨシオ 春の月つて、冬の月よりも大きく見えるんで  
すつて  
カナコ どうして  
ヨシオ ほら、近くあるように見えるんですけど、こう山  
のほうにおりてきて月が。  
カナコ 今にも手が届きそう  
ヨシオ カナコ先生、返事  
カナコ え？  
ヨシオ 返事まだもらつてないです。  
カナコ なに？  
ヨシオ 返事です。

カナコ

ヨシオ どうしたんですか？

カナコ 聞こえない

ヨシオ え？

カナコ 聞こえないの

声。声が聞こえない

先生の声が聞こえない。

ヨシオ、カナコをぼーっと見つめる。

かえで 聞こえるわけないって。

ヨシオ 先生、どうしたんですか？

みずほ タイチくんには聞こえるんだから、私たちも  
聞こえるはず

かえで タイチくんに聞こえても先生には聞こえない

カナコ 聞こえない

ヨシオ ナコ先生？聞いてますか？

タイチ 聞こえる気がする

かえで 鳥の声

みずほ 聞こえない

カナコ 聞こえない

ヨシオ 聞こえないんじやなくて聞いていないんです、  
まだ

かえで 風の音

みずほ 先生の声。聞こえるはず  
タイチ 聞かなきや

ヨシオ 僕が、先生の返事を  
カナコ （食い気味に）聞こえないの、あなたの声が  
聞こえない

と、言いながらカナコ、離れていく

ヨシオ 先生

タイチ 先生の声、聞かなきや  
みずほ 聞きたい  
かえで 聞こえないって

カナコ 先生、もうあなたの声が聞こえないのね。  
ヨシオ どこにいくんですか、先生。僕はあなたの返

事が、聞きたいんです

ヨシオ あなたの返事が

カナコ あなたがいなくなつても一人で生きていく  
かな：

かえで 聞こえない  
みずほ 聞こえない  
タイチ：

カナコ もうあなたの声が聞こえない  
ヨシオ 返事が、返事が聞こえない

ACT 8

カノンが流れる。

順番に現れる制服姿の少年少女たち。  
手には花束を抱えている。

ヨシオ、立ち上がり

ヨシオ そして、卒業式になつた。卒業生が入場し、  
国歌斉唱が終わる。その後、校歌を歌い終わ  
つた卒業生は、緊張をしたような表情をして  
いる。もちろん、僕も同じだ。今から、卒業  
証書授与が行われる。名前を間違わないよう  
に、名前を飛ばさないように。僕は前にたつ  
た。

ヨシオ 卒業証書授与されるもの

カノンが止まる。

ヨシオ 僕はその時、気がついた。ここから見る景色  
が今まで悪夢に見てきた光景とまったく同じ  
なのだ。

ヨシオ 卒業証書授与されるもの

ヨシオ といつてもだれも動き出そうとしない。

ヨシオ そうか、これも悪夢なのだと思ったけれども、  
そうでもないらしい。これだけ意識がはつき  
りしているのだ。第一、夢を見ている時には

概して「それが夢だ」なんて思つたことは一度もない。  
これは現実なのだ。

ヨシオ 卒業証書授与されるもの

青木 光男  
加藤 浩子  
佐久間 みづほ

どうして誰も返事しないんだ。

卒業証書授与されるもの

青木 光男  
加藤 浩子  
佐久間 みづほ  
鈴木 茂雄  
中島 はな  
前田 かえで  
矢島 薫  
渡辺 タイチ

なんでみんな下を見てるんだよ、ほら、お前たちの卒業式だよ。ほら、こっちに来て、校長先生から証書をもらつて。

卒業証書授与されるもの

青木 光男

加藤 浩子

佐久間 みづほ

鈴木 茂雄

中島 はな

前田 かえで

矢島 薫

渡辺 タイチ

返事がない。

ヨシオ 賴む、こっちを向いてくれ。  
聞こえないのか

なんで泣いてるんだよ。  
なあ。

返事してくれよ。

カナコ 先生：ヨシオ先生

カナコ カナコ先生

カナコ 先生、まだ思い出せないの？

ヨシオ え？

カナコ あの時

ヨシオ あの時？

カナコ 先生が私に月が綺麗ですねって言つたあの時。

ヨシオ あの時、あの時、たしかカナコ先生は死にた  
いって、それで。

カナコ それで？

ヨシオ 自分で首をつって

カナコ それはあなたじゃない

ヨシオ え？  
カナコ 私、死にたいとは言つたけど、死んではいな

いわ。

ヨシオ え、いや、カナコ先生は確かに  
カナコ ちよつと、一人になりたかつただけ。

ヨシオ え、そんな

カナコ ヨシオ先生、あの時、私がいなくなつたら死  
ぬかもつて言つてた。

ヨシオ うん、いや、でもそれは  
カナコ バカ。

ヨシオ え  
カナコ なんで本当に死んじやうの

ヨシオ 僕は、まだ死んでない。

カナコ バカ

カナコ、ヨシオを押し倒す。

ヨシオ カナコ先生：

カナコ ヨシオ先生、あなたつて時々自分の都合のいい  
いように考えちやうんだから。

カナコ、立ち上がって距離をとる

ヨシオ カナコ先生、どこいくんですか

カノンの音が強まる。

一人ずつ、花束を寝ているヨシオのまわりに置  
いていく。しかし、今度のその花束は葬式花だ。

ヨシオ どうしたんだ、みんな、それはお前  
らの花束だよ、あの遠くに輝く月に向かって手を伸ば  
していくお前たちの花束だよ。今、だんだん

と強くなる春の日差しを浴びながら自分の足で歩みだそうとしているお前たちの花束だよ。

カナコ それはあなたの花束。

たくさん的人に見守られながら天国へ向かうあなたを送る花束。

遠い遠い空まで登つていき、あの月まで手を伸ばそうとするあなたの花束。

ヨシオ そんな、今日は卒業式じやないか。

カナコ 今日はあなたのお葬式。

長い沈黙

かえで、タイチ、みずほ、カナコは、横になつているヨシオをじつと見つめている。

ヨシオ 僕は、僕は本当に死んだんだ。

タイえチ あ、

かえで どうしたの？

タイチ 声が聞こえなくなつた。

3人、遠くを見つめている。

ACT 9

カナコ、首吊りの木の下の台にたつ。

カナコ すっかり校庭の桜の蕾も膨らみ始め、春らし

さが感じられるようになりました。

それでも雪解けにはまだ早く、まるで別れを惜しむかの様にも思えます。

ヨシオ先生、今日も月が綺麗ですね。

月が山の端にかかり、今にも手が届きそうなくらい近くにあるように見えます。

首吊りの輪に手を伸ばし、握る。

だからでしょか、あなたがいなくなつてからも、すぐそばにあなたがいるような気がします。

そして心の中のあなたは、私にいつもこう微笑みかけます。月が綺麗ですね。と

時折、こうやつてここから街の景色を見下ろします。何もない街だけれど、あなたとあって本当によかつた。

首つりの輪から手を離す。

なんども、もう死んでもいいと思いました。でも、ごめんなさい、私はまだ死ねません。どんなに苦しくても生きて、生きて生きて、生きて生きて、あなたの分まで生き続けていきます。これがあなたへの返事です。

だんだんと月の光も消えて舞台が完全な闇へと包まれていく。

おわり

### あとがき

「月が綺麗ですね」は「愛している」という意味らしい。

「死んでもいいわ」も「愛している」という意味らしい。

では、もし月が汚かつたら、もし死にたくなかつたら、私たちは愛することはできないのか。もちろん、そんなことはない。

「死んでもいいわ」が愛の告白ならば、「死にたくない」だつて愛の告白になり得るのではないか。

そんな風に、人間の考えることは時々矛盾する。

希望に向かつてがむしやらに手を伸ばしていたら、いつのまにか絶望が目の前にあることだつて（少なくとも僕には）ある。

おんなじように、月に向かつてがむしやらに手を伸していたら、いつのまにか首つりの縄を掴んでいたなんてこともあるだろう。

これはそんな話ではないかと上演してから気がついた。

作・演出 一ノ宮綾平

（劇団かたかご）

## 上演記録

2020年2月22日～2020年2月23日  
@KCスタジオ（兵庫県神戸市）

上演時間 50分

あらすじ

山奥にある中学校。  
ある生徒は都会に夢見て、  
またある生徒は恋をする。  
卒業証書授与式。僕は生徒の名前を呼びあげる。  
なのに、誰の返事も聞こえないんだ…

スタッフ

作・演出 いちのみや

演出補佐 大小豆

舞台監督 鳴海遙真

照明 大崎ピンチヨス、いちのみや

音響 いちのみや、羽立栞

舞台美術 鈴木なすび（演劇研究会はちの巣座）

小道具 優愛（劇団えつぐ・劇団ぶんちやか座）鈴木な  
すび

衣装メイク オニールつかさジャスミン（演劇研究会は  
ちの巣座）愛花あかり（劇団狸寝入）

制作 いちのみや、オニールつかさジャスミン、愛  
花あかり、岸田月穂（劇団ちやうかちやわん）

フライヤー制作 大小豆  
パンフレット制作 いちのみや

キャスト

ヨシオ 鳴海遙真  
かえで 羽立栞  
みづほ 優愛（劇団えつぐ・劇団ぶんちやか座）  
(以上、劇団員)  
カナコ 愛花あかり（劇団狸寝入）  
タイチ 鈴木なすび（演劇研究会はちの巣座）